シリーズ21
間瀬1区

温もりとふれあいは最高

今月の「おじゃまします——地域情報ネットワーク」は、いよいよ厳しい冬を迎え、日本海の波音も一層大きく響く間瀬地区。その間瀬地区で陸の玄関口にあたる間瀬一区におじゃましてみました。

ここ間瀬一区は、人口が百二十六人、世帯数が四十九世帯と間瀬地区ではほぼ平均的な集落です。この地区は、通称〝本村〟といわれ、県道白根・間瀬線に沿ってひらける間瀬の陸の玄関口にあたるところです。

「現在、戸数が四十九戸あります。そのほかに空家が十戸ほどあるんですよ。それにこは一人暮らしの家庭も多いですね。でも、昔はここ本村（現在の間瀬一区、二区）といえば本当に賑やかで大勢の人たちでごったがえしていました。しかし、年々過疎化が進み、人口も減り、ちょっと淋しくなりましたね」と地区の状況を話す区長の田中惣市さん。

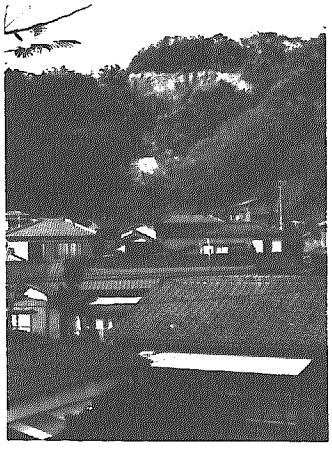
でも人口が減ってきたとはいえ、ここ間瀬一区は昔ながらの地域性というか地区内のまとまりはすばらしいといいます。「たとえば、毎年開かれる間瀬地区運動会。この時ばかりは皆さん一丸となってがんばっています。ですから、毎年上位入賞なんですよ。これもやはり〝まとまり〟の良さがものをいっていますね。それと隣の二区とは、いまは行政区界があるものの、もとは本村という同一地区でしたから二区の人たちとのつながりというか、付き合いは本当にいいですね。ですから、年に何回かやる川や浜清掃、それに忘年会なんかも隣区の二区と合同でやっているんですよ。これはやはり、この地区の人たちの人柄というか、昔ながらの人情味が残っている証拠でしょうか」と話す田中区長さん。

ところで、ここ間瀬一区には郡内でも珍しい石切り場跡があります。この石切り場、いまはもう使われていませんが、当時は大勢の人たちがここで働き、その名は「間瀬石」として間瀬漁港から和船で新潟方面へ運び出されていたという歴史もあるところです。

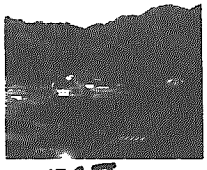
それになんといってもこの地区は、県道バイパスができるまで文字どおり間瀬地区の〝陸の玄関口〟としてにぎわっていました。

「バイパスができるまでは、地区内を走る県道が唯一の陸路でしたので、何処へ行くのにもここを通り、特に夏場なんかはすごい混雑でした。でもバイパスができてからは本当に良くなりました。反面、交通量が増えその騒音がちょっと…」とも話す区長さん。今、そんな間瀬地区に少しずつ新しい波も押し寄せています。「今はこれといった産業もありません。でも、これからは漁港の整備や海岸埋立などの話もあり、地区の発展のため大いに期待しています。そして若者がUターンできるような地区になればいいんですがねェ」とこれからの地区発展を願う田中区長さんでした。

間瀬地区の〝陸の玄関口〟である間瀬1区。ここからの眺めは最高。


地区のすぐ裏山にある石切り場跡。当時は重要な産業であった。

間瀬1区区長
田中惣市さん
(60歳)

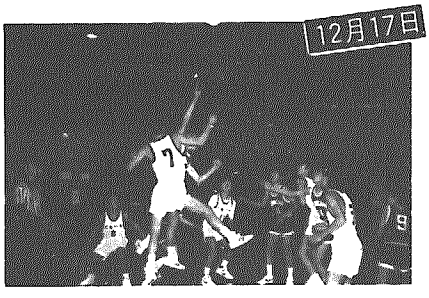


間瀬1区ミニデータ（人口と世帯）

人口	126人
男	55人
女	71人
世帯数	49世帯

（平成元年11月1日現在）

〝村民バスケットボール大会〟



参加チーム大募集

ことしの最後を飾るスポーツ大会〝村民バスケットボール大会〟が開催されます。毎年多数のチームが参加し、熱戦が繰り広げられるこの大会。ぜひ、皆さんもチームを作って参加してみませんか。

■とき…十二月十七日(日)午前九時から ■ところ…村民体育館 ■対象…中学生以上の村民か村内に勤務する人で五人以上の(団体)チームです ■申込み・問合せ…12月11日(月)までに、岩室村公民館（☎82—四四四四）又はバスケットボールクラブ員までどうぞ。

今月の納税

固定資産税（4期）
納期限は12月25日です

■広報いわむろ 第三三二号 平成元年(一九八九年)十二月一日発行(毎月一回一日発行) ■発行 岩室村役場 ■編集 総務課 ■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇(〒九五三—〇一) ■☎〇二五六—八二—四一一一(代) ■印刷 北洋印刷(株)